

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【公開番号】特開2016-222912(P2016-222912A)

【公開日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-070

【出願番号】特願2016-109096(P2016-109096)

【国際特許分類】

C 08 J 9/28 (2006.01)

C 08 G 73/14 (2006.01)

【F I】

C 08 J 9/28 1 0 1

C 08 J 9/28 C F G

C 08 G 73/14

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月5日(2017.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アミド系溶媒とアルコール系溶媒とからなる混合溶媒を含有する芳香族アミド系高分子溶液であって、前記芳香族アミド系高分子は、主鎖中にイミド結合ユニットを有しており、前記アルコール系溶媒は、沸点が200以上であり、その含有量が、全溶媒質量に対し、1質量%以上、50質量%未満であることを特徴とする多孔質フィルム形成用芳香族アミド系高分子溶液。

【請求項2】

気孔率が20～90体積%、平均孔径が0.1～20μmの多孔質芳香族アミド系高分子フィルムであって、前記芳香族アミド系高分子が、ポリアミドイミドからなり、このポリアミドイミドのジアミン成分が、4,4'-ジアミノジフェニルエーテル、m-フェニレンジアミン、4,4'-ジフェニルメタンジアミンから選ばれる少なくとも一つを含むことを特徴とする多孔質芳香族アミド系高分子フィルム。

【請求項3】

ポリアミドイミドのジアミン成分が、4,4'-ジアミノジフェニルエーテルと、m-フェニレンジアミンとを含むことを特徴とする請求項2記載の多孔質芳香族アミド系高分子フィルム。

【請求項4】

基材表面にポリアミドイミドと、アミド系溶媒とアルコール系溶媒とからなる混合溶媒と、を含む塗液を塗布して塗膜を形成し、かかる後、前記塗膜中の溶媒を除去する際、塗膜中に残存するアルコール系溶媒の作用を利用して塗膜内で相分離を起こさせることにより、多孔質化することを特徴とする多孔質芳香族ポリアミド系高分子フィルムの製造方法。

【請求項5】

請求項1記載の多孔質フィルム形成用芳香族アミド系高分子溶液を用いて基材上に形成された多孔質ポリアミドイミドフィルムの、基材と積層一体化しての使用。